

第4学年 「短歌・俳句に親しもう（一）」指導案 本時1 / 1 H27.6.30.金

1 ねらい

好きな短歌・俳句を選んで、文語調の響きや七五調のリズムを感じ取り、情景を想像しながら音読することができる。【伝国】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1 本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生での学習やこれまでの経験を想起させ、短歌や俳句に親しみをもたせる。 ・短歌は五・七・五・七・七、俳句は五・七・七でできていることを確認する。
好きな短歌や俳句を選んで、様子を考えながら音読しよう。		
15分	2 区切りを確かめ、リズムを意識しながら短歌や俳句を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに短歌と俳句を提示し、自由に読ませながら七五調のリズムを意識させていく。 ・様々なパターンで何度も音読させる。
15分	3 短歌や俳句を写真と結びつけ、情景や作者の心情を想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの写真とつなげられるか言葉をもとにして考えさせる。 ・自分の経験と結びつけて考えさせる。
8分	4 好きなものを選び、音読したり暗唱したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・想像した情景や作者の気持ちが表れるように、工夫して読むようにさせる。
2分	5 ふり返りをする。	

3 評価

好きな短歌・俳句を選んで、文語調の響きや七五調のリズムを感じ取り、情景を想像しながら音読している。(音読・観察)